ビジョン

3つの力を向上させ、共に学び社員全員で 協働・考動できる地域NO. 1の企業を構築する

是 -一 社

- 1.人間力の向上(協働・考動)
- 2.技術力の向上(品質・サービス)
- 3.信頼力の向上(安心・安全)

上 期・第 27 号(令和 5 年 9 月発行)

化

才

1

ル

3

ッ

ク

1)

Bだより

大変お

疲

n

様

で

す。

ま

だ

収

まら

な

VI

中、

毎

日

0

業

務

猛

暑に

加

え、

コ

口

ナ

0

流

行

が

Vol.27

『安全行動 全 方 針 日々確 みんなで徹底 **r** — 人じゃできない無災害 危険予知』 令和五年 安全スローガン

会長に

就

任

す

ることに

致

ま

0

度

私

は

社

長

を

退

任

大阪 間 先 有 そ Ĝ 代 携 限会社ハウス美装工業に 約 ま た 15 0 顧 る し た。 第 三十 社 わるようになり早五十三 後、 は 4 長 経 る 建築 年 済 0 昭 と、 ビルメンテナン が 後を引き 状 和 経 態 サ 四 ちま 大 ŧ 学 Ė Λ V1 スに を 継 年 ろ た。 卒 九 V1 VI 業 3 そ で ス業 月 社 後 社 と 0 か



取 締役 清

事業 賜 若 _ 厳 卷 て 不足と大 流 改 社 した。 圧 **()** マ き < 迫 8 扳 行 時 ン 物 員 0 運営を行 て P て厚く シ ŋ か 代 社 機 Y 0 VI これ 賃 を 会 少 を 3 VI ŧ 深 皆 会 変 子 金 経 ま ツ 図 乗 15 様 もひとえに 0 お礼申 難 近 高 ク ŋ 済 す 0 ŋ 経 が 感 0 等、 0 年 情 齡 上 l **(1)** 越 営 謝 協 あ 昇 勢 化 15 私 い えてま 事 力 ŋ ス L 非 新 は 時 15 15 は た * 上 2 タ ま 常 ま ょ ち 代 ょ コ お 0 げ 努 感覚 す ツ る 15 だ 15 3 口 を 客様 **()** 拡 ま 力 が フ ま 取 な 経 ナ 厳 h す 営 材 だ ŋ ŧ 0 つ 0 0

> 充 次 承 を 実 期 すること 7 新 安定 社 長 を 15 15 事 願 業 致 つ を 7 L 継 ま 承 L 事 た 業 継

会長 そ 基 頑 協 あ 感 本 0 向 社 と 新 張 ま 企 働 上 る 致 当 員 L Z づ 社 無 7 させ、 した。 団結 業 つ 7 ŧ 職 15 長 を V1 量 人間 考動できる地 てもら 構 永 社 親 15 15 て 期 0 築 員 経 就 **()** カ・ l は 待 思 共に学び社員全員 営 確 間 0 ま 任 お い 社 を 皆 技術 客 手 す あ ħ た た 内ビジョ 7 で 目 様 様 る る ŋ 腕 る VI 力 お あ と思い 指 ŧ を が 社 15 経 域 ŋ ŋ 営 L 長 発 7 新 信 とうご N 信 ま ま て共に 15 揮 理 は 社 頼 ン 頼 O ま す 念 す 誠 長 力 で な き す 0 1 3 3 と n

樣

お

感

M

社長就任のご挨拶



代表取締役社長 新 谷 城

就任致します、 皆さん、 業株式会社の代表取締役社長 この度、十月一日よりハウス美装 日々のお仕事お疲れ様です。 新谷一城です。 15

工

よって支えられてきました。 に加え、多くの苦楽を共にした仲間に してきた企業です。 松市のビルメンテナンス業界を牽引 当社は、 六十四年に渡り香川県高 その間にも皆さん 日 Q 0

> 整えて参ります。 家族同然の関係を保ち、全ての人が す。令和に移り、時代が変わろうとも 笑顔で幸せに仕 当社は皆さん一人ひとりを大切にし、 乗り越えてきたからこそ、今日 ハ ウス美装工業があると思ってい 事が出来る環境を ま 0

ことが大切であり、 指示を待つのではなく自ら考えて動く ような風土へと変革していきます。 失敗を恐れず皆がチャレ 「自ら考え行動する=考動」を行い、 これから当社 は、 前向きで自由な 一人ひとりが ンジできる

業務

の中で、

楽しい事や苦しい

事

助け合い、

会社全体で共有し時代を

見捨てることなく一緒になって考え、

つらい事もあったでしょう、

それを

作りましょう。そして皆さんが笑顔で 皆さんの沢山の発想を私にください。 それは失敗ではありません。 これ すれ しょう。 幸せになれる瞬間を増やしていきま どうすればお客様が快適にお仕事を 発想こそが会社 ンジしないことが一番の失敗です。 チカラがあると思います。 していただける空間になるだろうか、 一生懸命考えて行動して失敗しても、 緒にこれからのハウス美装工業を ば 以外にも、 仕事が楽しくなるだろうか 皆さんには考える の財産です。 皆さんが チャレ どう

ご挨拶とさせていただきます。 に考えていくことをお約束して就 これから十年先・二十年先も皆さん 人ひとりを笑顔に出来る事を真剣 任

皆さんよろしくお願い致します。

禾口 年 度 0 針 標が決まりました

ことを目標とします。 収 学 支 本 げ 改年 に 善善 て解決することで、 関 は、 わ \mathcal{O} 三つの る全ての人を幸 大 きく 分け 項目を重点的 て安全 せ ウス美装 • に 品質 に す 課題

安全 ゼ 作業所 です。 か 向上にも繋がります。 お互いに声を掛け合い行動することで、 ら信頼を得ることが出来ます。 \Box にすることによって社員・ は、 全体のコミュニケ 人ひとりが安全作業を意識 すべて の作 また、 業 に お 労働災害を ションカ け お客様 る

成 る ゃ 資 品 長出来ます。 めることで、 効率化・安全性を考慮し、 為 機 質 材や手法は日 向 常にアンテナを張り、 上 は、 サ 信 進月歩で 頼さ ・ビス れ の 基 本 る 品質向 変 美 企 観 化 で の し 維持 す 上 て い

収支改善は、 参ります。 改 لح 案 な を行 業に ŧ 課題です。 を に チャ い L \Box て新し ス 価 **|** 会社運営を行う上 格の ンジできる環 様々な方法でお 削 い作業所 減 適 など 正受注. を の 行 境 獲 に を整 客様 得 繋 で げ ゃ の ると え 新 収 重 規 支 提

三

品質方針

社員・お客様からの信頼を向上させるために、適正な 安全環境・適正品質・適正価格を確保することで、 ウス美装工業に関わる全ての人を幸福にする企業をめざす

品質目標

1. 労働災害ゼロに向けて危険予知・HB体操の実施と定着

ク

シ り

- 技術力向上研修の実施
- 現場管理の改善・効率化
- 不採算作業所、店舗の収支改善の見直し

社

会

- 5. 各課、各店舗の収支目標(売上と利益)の明確化
- 6. 本社BCPの策定

また、

当社社員

(浦敏治さんが、

全 国

ピ

メ

テ

ナン

ス協会から

ビ 濵

ル

メンテ

ナン

· ス協

会

 \mathcal{O}

事 ル

力したことによる表彰状を頂きまし

2023年7月1日

当社

シ

彐

取

組 彐

《 永年勤続表彰者





《安全標語入賞者》

安全衛生協力会優良表彰》







今後も環境に配慮した取り組みを積極的に実施 が取組んでい 地 h 21 域に貢献 できたことから、 21 中央事務局 を長期にわたり継続 L る環境活 て参ります。 から 持続性 感謝状を頂きま 動 \mathcal{O} 推進 L て環 機 構 境 工 問 工 コ L 題 ア コ T ケ

終了しました。 撲滅重点取組事項などの発表が行われ、 標語入選者表彰、職場災害·事故発生状況報告、労働災害 TAL HOTELにて、安全大会が開催されました。 当日は、安全衛生協力会優良表彰、永年勤続表彰、 ガンの斉唱で今年度の無災害を誓い、 令和五年六月十六日 (金)、KANEMITSU 最後に安全スロ 盛会に大会は C A P I 安全

永年勤続表彰者は次のとおり

「四〇年表彰】

佐藤ゆう子

一十五年

表彰】

下平三知子 田中謙次 長塩豊子

表彰】

秋山保子 植田まゆみ 大熊恵子 尾形光子

金生かな子 上河寿美子 中原道子 南部鏡子

野中明美 増田明美 森 横割愛美

吉田信太郎

【十五年 表彰】

赤松和男 赤松美江 江藤みち子 大浦誠司

大須賀美智子 川田貴子 佐伯ノブ子 佐々井タツエ

東條博子 鈴木公代枝 関野高子 西 和博 原田幸子 高木昌代

玉木紀子 松本チズ子

三木陽子

櫛田美智子 伊東真由美 國安規中

井上裕美

岡本

強

杉山理江

香西久美子

竹谷朱音

多田康一 材木光恵 加藤さゆり

原田美友紀

中田悦子

田中ヒロ子 杉﨑千恵子

福島真希

藤村

俊子

増田喜美代

宮本真由美 松下勝子

山田英継 脇谷恭子 宮崎由紀子

宮武真澄

安全標語入賞者と作品は次のとおり(敬称略)

席 久保寿史

一席

人じゃできない無災害

危険予知

大﨑慎弥

習慣づけよう危険予知

中村省吾

初心忘れず日々確認

KYの徹底でゼロ災害

亀井麻子

三席

安全は

小さな注意の

積み重ね

髙尾聡実

作業前

安全確認忘れずに

KY意識し

事故もなし

檜垣弥里

安全は

ひとりひとりが

責任者

佳作受賞者

佐藤ゆう子 植松義之 豊嶋孝 内田

萌

中村孝男 岡田拓也

斉藤康博

飯間廣美

松尾清隆

安全衛生協力会優良表彰 平田貴子

株式会社C-on е

北井 久満 殿

次号 Vol.二十八 令和六年二月 発行予定